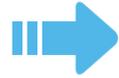


DTPエキスパート認証制度改定の背景と主旨

DTPエキスパートの役割の変遷と現在

●DTPシステムの黎明期～普及期

DTP環境による印刷物製作の標準化が課題。関連技術が刻々と進化するに伴い顕れる新たな技術的課題とその解決という激動期。



標準化の推進と技術的課題の解決を担うスペシャリストが求められました。

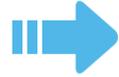
●現在

安定運用の時期へ

DTPシステムによる印刷物製作は一般化。ナレッジの共有方法は多様化、制作環境の進化によって、熟練者のみに依存するものではなくなりつつあります。

印刷物自体の活用場面が変化

他メディアの発展
生活者の価値観の変容



印刷物による価値を生み出す新ビジネスの創造とプロジェクトマネジメントを担う人材が求められます。

そのために必要な知識は

- ・DTPシステムによる印刷物製作全体への理解
- ・ビジネスの実践に結び付けるための印刷総合知識

●これからのDTPエキスパート認証制度の役割

一定の知識を試験範囲とする「印刷物による価値を提供するビジネスの土台作り」と位置づけられます。

DTPエキスパート認証制度改定

DTPエキスパートの役割の変遷を踏まえ、DTPエキスパート認証制度は2020年3月開催試験より制度を改定します。

2段階の認証



学科試験により印刷に関する広範な知識を習得していることの証



学科および実技試験による知識に加え、製作実務の力量も兼ね備えていることの証

2段階制のメリット

さまざまな人材育成の必要性を広く包含する方法として、各自の目標地点に従い、取得資格の選択が可能な方式へと移行します。

メリット1) あらゆる職種に開かれた試験に

企画職・営業職をはじめとした、あらゆる職種の方々が取り組める試験になります。学科試験のみによる認証を設けることで、印刷ビジネスの新たな展開への第一歩となります。

メリット2) 習得段階に応じてアップグレードが可能

学科試験のみの「DTPエキスパート」取得後、実技試験のみをあらためて受験し「DTPエキスパート・マイスター」にアップグレードすることも可能です。

2段階制の概要

| 種別 | 試験科目 | 備考 |
|-----------------|-------|----------------------------------|
| DTPエキスパート・マイスター | 学科・実技 | DTP・印刷に関する広範な知識と制作・管理の実務能力を備えている |
| DTPエキスパート | 学科 | DTP・印刷に関する広範な知識を備えている |

DTPエキスパート・マイスターへのアップグレード

2020年以降のDTPエキスパート取得者は、認証有効期限内であれば、任意の期にアップグレード試験を受験することができます（2020年9月より実施）。

| 種別 | 対象者 | 試験科目 | 合格後 |
|-----------|-------------------------|------|----------------|
| アップグレード試験 | DTPエキスパート 2020以降 | 実技 | エキスパート・マイスター認証 |

2019年までのDTPエキスパート保有者

2019年までにDTPエキスパート資格を保有している方は、実質上DTPエキスパート・マイスターと同等と見なされます。そのため、次回の更新試験に合格した時点でDTPエキスパート・マイスターとして認証されます。

| 種別 | 対象者 | 試験科目 | 合格後 |
|------|-------------------------|-------|----------------|
| 更新試験 | DTPエキスパート 2019まで | 学科CBT | エキスパート・マイスター認証 |

※ CBT：時間・場所の制約を受けずに、ウェブブラウザ上で実施する試験方式